RIVER

2025年3月期 第2四半期

決算説明資料

2024年12月13日

リバーエレテック株式会社

（東証スタンダード 証券コード6666）

アジェンダ
❶

2025年3月期 第2Q決算概要

執行役員総務本部長　天野　伸幸

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

2025年3月期 2Q実績サマリー

（単位：百万円）	24/3期_2Q（前年同期）	25/3期_2Q（当期累計）	YoY増減・率（前年同期比）	25/3期_1Q（前四半期）	25/3期_2Q（当四半期）	QoQ増減・率（前四半期比）
売上高	2,795	**2,742**	-52 -1.9%	1,326	**1,416**	+90 +6.8%
営業利益	8	**△45**	-54 —	25	**△70**	-96 —
営業利益率	0.3%	**△1.7%**	-2.0pt	1.9%	**△5.0%**	-6.9pt
経常利益	38	**△44**	-82 —	50	**△94**	-144 —
親会社株主に帰属する四半期純利益	△107	**△41**	+65 —	33	**△75**	-108 —
EPS	△12.61円	**△5.06円**		△2.09円	**△10.64円**	
為替レート（USD/JPY）	144.99円	**161.07円**		151.41円	**161.07円**	

対前年同期比で減収減益

☞ **売上高**

医療ヘルスケア向けは好調を持続も無線通信向けの受注が伸び悩み。

四半期ベースでは前期第4四半期を底に回復基調。

☞ **営業利益**

減収及び販管費（研究開発費）の増加の影響。

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

前期第4四半期を底に回復基調も、前年同期比1.9%減

☞ 音叉型水晶振動子は微減 / ATカット型水晶振動子は医療・ヘルスケア向けが好調に推移 / 水晶発振器は在庫調整が長期化。

累 計

会計期間

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

販管費の増加により対前年同期減益

☞ 新製品開発に伴う研究開発費の増加により、販管費が増加。

累 計

会計期間

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

スマホ・産業機器向けが伸び悩み、対前年同期比減収

☞ 補聴器等、医療ヘルスケア向けは好調を持続。

累　計

会計期間

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

営業利益増減要因＿対前年同期

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

営業利益増減要因＿対前四半期

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

海外売上高は前年同期比2.2%アップ。

☞ 国内売上高は（前年同期）は106百万円の減収。

☞ 海外比率（会計期間）は90.9%。

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

貸借対照表

資産の部

（百万円）	24/3	25/3_2Q	対前期末増減
流動資産	**6,021**	**6,385**	**+363**
現金及び預金	2,765	**2,977**	+211
受取手形及び売掛金	875	**1,182**	+306
棚卸資産	1,939	**1,987**	+48
その他	441	**238**	△202
固定資産	**4,157**	**4,510**	**+353**
有形固定資産	3,862	**4,205**	+342
機械装置及び運搬具	1,970	**2,123**	+153
建設仮勘定	629	**769**	+140
その他	1,263	**1,312**	+49
無形固定資産	14	**33**	+19
投資その他の資産	280	**271**	△9
資産合計	**10,179**	**10,895**	**+716**

負債及び純資産の部

（百万円）	24/3	25/3_2Q	対前期末増減
流動負債	**2,990**	**3,228**	**+237**
支払手形及び買掛金	307	**357**	+49
借入金	1,695	**1,893**	+197
設備関係支払手形	311	**173**	△138
その他	676	**804**	+128
固定負債	**2,740**	**3,092**	**+352**
借入金	2,200	**2,544**	+344
その他	539	**548**	+8
負債合計	**5,730**	**6,321**	**+590**
資本金及び資本剰余金	2,325	**2,325**	―
利益剰余金	2,168	**2,086**	△82
その他	△46	**162**	+209
純資産合計	**4,448**	**4,574**	**+126**
負債純資産合計	**10,179**	**10,895**	**+716**
自己資本比率	43.7%	**42.0%**	△1.7pt
D/Eレシオ	0.88	**0.97**	

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

成長のための積極的な投資を実施。

（百万円）	24/3_2Q	**25/3_2Q**	対前年同期増減
営業活動によるCF	379	**54**	△324
投資活動によるCF	△471	**△537**	△65
財務活動によるCF	180	**487**	+307
現金及び同等物による換算差額	89	**156**	+66
現金及び同等物残高	2,004	**2,173**	+169
フリーキャッシュ・フロー	△92	**△482**	△390
税金等調整前純利益	35	**△44**	△79
減価償却費	271	**287**	+16
有形固定資産の取得	△430	**△507**	△76

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

車載関連、KoTカットデバイス向けの投資が増加。

☞ 車載関連向けの設備投資やKoTカット向け専用ICの開発を実施。

設備投資

24/3期 2Q	25/3期 2Q	増減率	増減率
231	**614**	+382	+165.6%

減価償却費

24/3期 2Q	25/3期 2Q	増減率	増減率
271	**287**	+16	+6.0%

研究開発費

24/3期 2Q	25/3期 2Q	増減率	増減率
121	**173**	+52	+43.7%

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

アジェンダ
❷

2025年3月期 通期業績見通し

代表取締役社長　萩原　義久

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

通期予測を下方修正。

（百万円）	25/3_通期（前回予想）	**25/3_通期（今回予想）**	前回予想増減・率	24/3_通期（前期実績）	前期増減・率
売上高	6,079	**5,700**	-378 -6.2%	5,454	+246 +4.5%
営業利益	53	**△77**	-131 —	8	-86 —
営業利益率	0.9%	**△1.4%**	-2.2pt	0.2%	-1.5pt
経常利益	34	**△88**	-122 —	56	-144 —
親会社株主に帰属する当期純利益	14	**△85**	-100 —	△133	+47 —
EPS	1.74円	**△10.44円**	—	△15.92円	—
為替レート（USD/JPY）	145.00円	**145.00円**	—	141.83円	—

- ☞ 電子部品市場の回復が当初の想定よりも弱含みで推移すると見込まれることから減収見通し。
- ☞ 徹底した原価管理や固定費削減に取り組むも、減収の影響から減益見通し。
- ☞ 前提為替レートを1ドル＝145円。（期初からの変更はなし）

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

車載関連、KoTカットデバイス向けの投資が増加。

設備投資

24/3 期	25/3 期予測	増減率	増減率
664	**1,007**	+342	+51.5%

減価償却費

24/3 期	25/3 期予測	増減率	増減率
574	**634**	+59	+10.4%

研究開発費

24/3 期	25/3 期予測	増減率	増減率
243	**311**	+67	+27.7%

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

アジェンダ
❸

今後の取り組みについて

代表取締役社長　萩原　義久

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

水晶デバイス市場は通信技術の急速な発展とともに成長

☞ 5Gネットワークの拡大とともにIoTデバイスの急増、自動車や医療ヘルスケア業界向けの需要が増加（スマートフォン市場は成熟期に）。

☞ 市場からは高周波、高精度、高信頼性、低消費電力、小型化の要求。

IoTデバイス

2023年に378億台だったIoTデバイスは、2027年までに572億台に達する見通し。（2023-2027の年平均成長率は10.9%）

スマートフォン

世界のスマートフォン出荷台数は低水準で推移する見通し。（2023-2026の年平均成長率は2.5%）

（出所：令和５/６年版情報通信白書（総務省）（primary source：Omdia））

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

LPWA（Low Power Wide Area）

LPWAは、IoT通信における長距離無線技術のひとつで、５Gは「高速通信」「大容量通信」「低遅延化」といった特徴があるのに対して、LPWAは「低消費電力」「長距離通信」「低容量通信」といった特徴があり、自然災害防止のためのモニタリング（監視）や介護・見守りといったトラッキング（追跡）、電気・ガス・水道などのメータリング（検針）などを可能にする手段として使われている。

音叉型水晶振動子
TFX-04
（1.6㎜×1.0㎜×0.5㎜max）

（出所：令和５/６年版情報通信白書（総務省）（primary source：Omdia））

医療ヘルスケア（補聴器）

超小型
ATカット水晶振動子
FCX-08
（1.2㎜×1.0㎜×0.3㎜max）

（出所：グローバルインフォメーション）

世界の補聴器の市場規模は、2024年に96億4,000万米ドルに達し、2024～2029年にかけてCAGR4.9%で成長し、2029年までに122億8,000万米ドルに達すると予測されている。

成長要因

- WHOの世界聴覚報告書（2021年4月）によると、2050年までに世界で難聴を抱えて生活する人が約25億人（４人に１人）に達する。
- 補聴器に対する意識の変化や技術革新など

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

車載（ECU）

電動化や運転支援技術の高度化、コネクテッド機能の追加などにより、ECUの市場規模は拡大する見通しであり、2035年のECU市場規模は、2021年比2.9倍の33兆9,916億円に達する見通し。
xEV系と走行安全系の成長が大きく、水晶デバイスの搭載数もADAS（先進運転支援システム）向けを中心に増加する見込み。

ATカット水晶振動子

ECUの世界市場

（出所：富士キメラ総研）

データセンター

世界のデータセンターシステム市場規模（支出額）の推移及び予測

新型コロナウイルス感染症による影響で減少に転じたものの、その後は増加傾向で推移しており、2024年には36.7兆円まで拡大すると予測されている。

（出所：令和６年版情報通信白書（総務省）
（primary source：Gartner（Statistaより引用））

データセンターなどで用いられる光伝送モジュールの基準クロック源として水晶製品の需要は今後も増加することが見込まれている。

KoTカット水晶発振器
KCRO-04
（3.2mm×2.5mm×1.3mmmax）

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

事業（製品）毎の今後の取り組み＿ATカット水晶デバイス

事業（製品）

構造改革

ATカット水晶デバイス

モビリティ市場へ本格的参入

コア

音叉型水晶デバイス

1610サイズにおいて圧倒的シェアNo.1の獲得

新規

KoTカット水晶デバイス

高周波・低位相ジッタの優位性で差別化を図る

注力市場

- モビリティ市場
- 医療 ヘルスケア市場
- IoT無線通信市場
- 航空宇宙 次世代デジタル インフラ市場

中期計画に対する進捗度と今後の取り組み

☞ 車載向け生産体制の早期立ち上げ

- ✓ 新規生産設備の調整の遅れ等から当初計画に対し若干の遅れ
- ✓ 当期４Qの正常稼働に向けて注力
- ✓ これまでにない新規取引が増加
- ✓ 稼働率、生産効率のアップによるスケールメリットの享受

☞ 超小型ATカット水晶振動子の開発

- ✓ 独自技術であるMDS※の横展開（音叉型→ATカット）を検討

- ✓ 医療向け等、小型化の市場要求を受け、0806サイズ品を開発
- ✓ 当社の独自技術であるMDSを駆使したオール水晶製品
- ✓ MDSは今後の小型化へのブレークスルー技術

製品収益力と成長力の向上の実現

※固相拡散接合

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

事業（製品）毎の今後の取り組み＿音叉型水晶デバイス

事業（製品）

構造改革

ATカット
水晶デバイス

モビリティ市場へ本格的参入

コア

音叉型
水晶デバイス

1610サイズにおいて圧倒的シェアNo.1の獲得

新規

KoTカット
水晶デバイス

高周波・低位相ジッタの優位性で差別化を図る

注力市場

- モビリティ市場
- 医療
  ヘルスケア市場
- IoT無線通信市場
- 航空宇宙
  次世代デジタル
  インフラ市場

中期計画に対する進捗度と今後の取り組み

☞ IoTデバイス向けの拡販

✓ 1610サイズの需要伸び悩み
- ・スマートフォン市場の成熟化、代替製品との競合が激化
- ・中国経済の停滞による無線モジュール向けの需要が伸び悩み

✓ 優良代理店とのエンゲージメント強化

✓ 企業ブランディングの強化

☞ 超小型品の販売強化

✓ データセンター向け等、超小型品（1210サイズ）の需要拡大傾向

✓ 更なる歩留まり改善による信頼性・収益性向上

IoTデバイス市場における需要喚起策の実行

超小型品需要の取り込みを強化

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

事業（製品）毎の今後の取り組み_KoTカット水晶デバイス

事業(製品)

構造改革

ATカット水晶デバイス

モビリティ市場へ本格的参入

コア

音叉型水晶デバイス

1610サイズにおいて圧倒的シェアNo.1の獲得

新規

KoTカット水晶デバイス

高周波・低位相ジッタの優位性で差別化を図る

注力市場

- モビリティ市場
- 医療 ヘルスケア市場
- IoT無線通信市場
- 航空宇宙 次世代デジタル インフラ市場

中期計画に対する進捗度と今後の取り組み

☞ KoTカット専用ICの開発

✓ KoTカットの能力を引き出す専用ICを開発

✓ 量産化に向け大きく前進

☞ サンプル出荷先拡大

✓データセンターや航空宇宙向け等のサンプル出荷が、拡大傾向

✓ 周波数拡大対応中（基本波１GHz品への対応）

☞ 最適な量産体制の構築

✓ マーケティング環境（市場、顧客、競合等）を把握し、最適な量産体制を構築する

マーケティングミックスの最適化による顧客満足度と収益力の向上を実現

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

文部科学省ARIM「秀でた利用成果」優秀賞を受賞

「電子線描画装置を使用した1GHz OPAW振動子の電極パターニング」

Orthogonal **P**late **A**coustic **W**aves (OPAW)

縦波と横波が基板上下面で反射しながら伝搬し結合する
⇒優れた温度特性と高周波化を実現

拡大すると

パターニング図

次世代通信技術における高周波数帯域のニーズが高まる中、技術課題であった水晶ウェハ上への高精度な電極パターニングを、ARIMの共用設備である東京大学および東北大学の最先端の電子線描画装置により実現しました。信頼性の高い1GHz帯の水晶振動素子の実用化が社会イノベーションを生み出す原動力に。

2024年11月12日
プレスリリース発表

OPAW技術を応用した製品は広い温度範囲での安定した動作を保証し、PLLを不要とすることで極めて低ノイズな出力信号を実現

高周波数　超低ジッタ

ビッグデータ処理　高速データ転送　ディープラーニング

信号の安定性と情報の確度を向上

高速通信ネットワーク　データセンター 高性能コンピューティング

人工知能や機械学習のような先端技術の基盤にも

世界で初めて0806サイズのATカット水晶振動子の開発に成功

本日15:30
（2024年12月13日）
プレスリリース発表

ウェハレベル真空パッケージ封止技術（MDS）のクリスタルケース

名　　称	MDS-AT0806（仮称）
用　　途	医療機器、ウェアラブル機器など
外 形 寸 法	0.8mm x 0.6mm
高 さ	0.3mm max

・次世代製品向けに試作品を供給済み
・今後もIoTが進展する社会で求められる小型・軽量化、省スペース化のニーズに対応していく

超小型ATカット水晶振動子『FCX-08』（1.2mm×1.0mm×0.3mm max）と比較して、体積は約60%減少、重量は約75%軽減と驚異的な小型化を実現

「小型ならリバー」復権

どこよりも小さく
どこまでも小さく

FCX-08とMDS-AT0806のサイズ比較
1目盛は1.0mm

当社が開発したウェハレベル真空パッケージ封止技術（MDS）を採用する『TFX-05X』（1.2mm × 1.0mm × 0.35mm max）は、既に全世界で1500万個超の出荷実績。
優れた信頼性が市場で高く評価されています。

再成長から次なるステージに駆け上がる

R2024

経営環境の急激な変化により
収益力が大きく低下

R2026

次なるステージに向けて変革させる3ヵ年

- **ATカット水晶デバイス：モビリティ市場へ本格的参入**
- **音叉型水晶デバイス：1610サイズにおいて圧倒的シェアNo.1の獲得**
- **KoTカット水晶デバイス：高周波・低位相ジッタの優位性で差別化を図る**

攻めの経営でPBR1倍水準の回復
資本コストを上回るROICの早期達成（2026年度目標：9.8%）

Copyright (C) RIVER ELETEC CORPORATION All rights Reserved

RIVER
Connecting to the Future
リバーエレテック株式会社

本資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などの記載は、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。実際の業績はこれらと異なる結果となる場合がありますので、これらの業績見通しに過度に依存されないようお願いいたします 。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、景気動向、為替変動、当社の事業領域に関連する技術革新や需要変動、当社の開発・生産能力などが含まれます。
ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。